

第 3 6 期（第 2 回）神戸市社会教育委員会議事録（要旨）

1. 日 時：令和 3 年 3 月 2 2 日（月） 1 3：3 0～1 5：0 0

2. 場 所：神戸市教育委員会事務局 教育委員会会議室(大)

3. 出席者：

(1) 社会教育委員 1 0 名（内オンラインでの参加者 7 名）

(2) 事務局 安田担当課長（埋蔵文化財センター）、井関課長（文化交流課）、
鎌田担当課長（中央図書館） 他

4. 開 会：総務課地域連携係長

5. 議事・報告事項：

（1）第 3 6 期第 1 回会議議事録【要旨】の確認について

（事務局）資料 1 により、前回の会議議事録（要旨）について説明。

（議 長）質問、意見はあるか。

（委 員）特に質問、意見なし

（2）公民館利用者アンケートについて

（事務局）資料 2 により、公民館利用者アンケートについて説明。

（人羅委員）このアンケート調査について、前年度の母数はどのくらいか。

（事務局）約 1000 である。今年度は 840 なので昨年度に比べ減っている。理由はコロナ対策で 4 月・5 月と閉館していたことと、春の講座・サマースクールができなかったためと考える。

（人羅委員）利用者の性別や年齢の割合が前年度と変動があるのは、コロナを要因とする空き予約の増加によるものか。又は単純にとったサンプルの違いか。

（事務局）空き予約の増加によるものと考えている。

（議 長）コロナの影響で不要不急の外出は控えるようにとのことであったが、公民館の活動としてどのような影響があったと考えるか。

（事務局）リピーターの主な層である 60 歳以上の女性は、外出自粛要請を守る傾向にあり、利用者の減につながったと考える。

（斎藤委員）講座の中身に絞っての満足度調査をすると、今後の企画に対する議論に役立つのではないか。また、公民館の役割として民間施設との違いを考える必要がある。社会や地域を考える中でニーズが少なくともやるべき講座があると思うので、あきらめずに取り組んでほしい。

（議 長）この公民館のアンケート調査をもって我々（社会教育委員）にどのような議論をすることを求めているのか。それをふまえてこのアンケート調査の出し方についてどのように考えているのか。

（事務局）アンケート結果をもって、今後の公民館のあり方の方向性について、意見を伺えたらと考えている。但しより建設的な意見を述べていただくには、このアンケートの取り方については、見直す必要があるかもしれない。

(議 長) 今後の公民館のあり方を検討するにあたり、地域以外からの利用者を増やすべく他の公民館と連携した講座と、地域の方向けに特化した講座とで分けてアンケート調査をすると、進むべき方向性の一助となるかもしれない。講座の質(傾向)をどのように今後変化させていきたいか、事務局や現場の職員の考えを示してもらえれば、より建設的な意見が言えるのではないか。

(事務局) 講座の質は最終的には満足度であると考えている。それをいかに上げていくか。

(議 長) 利用者がどういう指標の中で満足しているか(していないか)を我々は議論しなければならないということか。

(事務局) そうだと思う。

(齋藤委員) 社会教育における何にその講座が役立ったかというのが、現状の満足度調査では見えてこない。これは満足度以外の指標で計るべきではないか。

(森田委員) 公民館の位置づけが市民にとってどのように認識されているか。文化センターとの違いを明白にすべき。時間もお金もない方が文化に触れる機会を持つことができる場が公民館であると考えている。

(事務局) 公民館独自の現代的課題、特に現在世界的に重視されている SDGs への取り組み等で独自の色を出していきたい。その取り組みの中で利用者により満足していただけるよう工夫していければと考える。

(議 長) 公民館の活動の指標に、現代的・世界的・国際的課題とどうタイアップしていくかを意識した設定ができるとよい。SDGs の取り組みは社会教育が弱いと既に言われている。SDGs の取り組みについて、社会教育がどのように取り組んでいるのか発信する機会を持つ必要がある。是非、現代的課題・SDGs をつなぎ合わせて講座を企画していただきたい。

社会教育主事はこのアンケートについてどのような意見を持っているのか。現場の人の意見は大事。

(事務局) 主事の意見をまとめたものはない。一度まとめてみる方向で考える。

(井上委員) アンケートの中に施設のハード部分の要望が見受けられる。高齢者が多く利用する施設なのでバリアフリー化できれば良いが、予算との兼ね合いで一朝一夕にはいかないことも理解できる。安全性を確保し不満要因をどう解消するか、老朽化が進む施設が直面する課題である。

(事務局) 限られた予算の中で優先順位をつけて、ハード面の整備を進めていきたい。

(3) 令和3年度の組織改正について

(事務局) 資料3により、令和3年度の組織改正について説明。神戸市全体の方針によるものなので、報告事項となる。

(森田委員) 組織改正の意図について知る機会がない。どのような効果があると考えているのか示していただけませんか。

(事務局) まず、社会教育施設については一定の条件を満たせば市長部局に移管できる旨、法改正があった。そして神戸市・教育委員会の方針として、(様々な不祥事を受けて)教育委員会は学校教育に特化した体制を確立するという事で決定した。

そういった方針の基で結果的に図書館や博物館、生涯学習支援センター(以下コミスタこうべ)と同じ局になることで、より施設同士の連携が図りやすくなるといった効果があると考えます。

(議 長) 教育委員会が学校教育に特化することと、社会教育の民主主義的な手続きをやめることとは別問題。他の自治体でも社会教育施設の管理を市長部局に移管している例はあるが、その場合社会教育委員によるレイマンコントロールが保証されている。それをしなければ市長部局の独裁的な運営を許すことになるし、公共的な課題を扱うような公的機関とは認められないので、他の文化センターやカルチャーセンターとの差別化ができないような内容を社会教育という名のもとに行うことになる。これは由々しき事態である。私は市長に、社会教育の民主的なプロセスの維持について、社会教育委員会議として要望書を出しても良いのではと考えている。

(辻委員) 公民館の所管課はどこになるのか。

(事務局) 公民館の所管課はコミスタこうべと同じスポーツ企画課になる。

(議 長) この組織改正には、社会教育施設を文化センター等との差別化がないような形にしようという意図が感じられる。市民を軽んじるべきではない。学習を支援する人材の育成を担うという役割を持つ社会教育施設は、文化センターとは異なるものである。

(事務局) 今回の組織改正は同じ局ではあるが、文化施設と社会教育施設の棲み分けを念頭に置いて、所管課を違えている。差別化はされていくものと考えている。

(議 長) このあたりの認識について、勉強する機会を持つ必要があるのではないかと。社会教育委員の会議として神戸市全体に対しての社会教育行政のあり方について提案をしても良いのではないかと。一度皆さんにご賛同いただけるのであれば検討会や学習会を開くことを事務局と相談する。ボランティアでも参加するかどうかが開催の決め手になる。社会教育を豊かにするための方策を考える機会にできたらと考えるのでご協力いただきたい。

(4) 子ども読書活動推進事業について

(事務局) 資料4により、こうべっ子読書活動推進プログラムについて説明。

(目黒委員) まず、このプログラムの位置付けについて、第4次子供読書計画に準ずるものであることをどこかに明記していただきたい。(例えばHPにこのプログラムを載せる際の説明文の一部にでも)次に、神戸市の子ども読書活動に関する課題が何なのか、それに対してどのように取り組んでいるのか補足説明をお願いしたい。

(事務局) 一つ目のプログラムの位置づけについて、我々も第4次子供読書推進計画に準じるものと認識しているので、HPに掲載する際(どのような形になるかは検討が必要だが)説明を加える方向で考えたい。

(目黒委員) 当初より計画を策定しない代わりにプログラムと聞いていたので、第4次子供読書計画に準じるものと明記していただけるのであれば、とりあえずは納得する。因みに第3次子供読書推進計画の検証結果はまだ聞いていない。検証結

果の報告を受けるのは、この社会教育委員会議の場であると認識している。

(事務局) 二つ目の神戸市の子ども読書活動に関する課題について、子どもの読書活動を支えるものとして、家庭、地域、学校この3つの場所において読書環境を整えていかないといけないが、神戸市はどれも不十分である。特に家庭については千差万別で配慮を必要とする子供たちも多くいる中でどれだけ行政が関わっていけるかは永遠の課題である。学校については学校司書の配置を進めている最中である。地域(図書館)について、ICTE の発達で子どもの読書時間の減少の影響を受け、貸出人数が伸び悩んでいる中、クイズラリーや工作会などを企画し子どもと本の結びつきを深めようとしているところではあるが、一足飛びに効果が出るものではなく、効果の実感には時間がかかる。またこの家庭、地域、学校を担っている部局がそれぞれ違い、横の連携をいかにとるかということも課題である。この連携を進めていくのもこのプログラムの役割と考えている。

(5) その他

① 埋蔵文化財センター事業報告

(事務局) パンフレットにより、埋蔵文化財センター事業報告について説明。

(議 長) ご質問、意見はあるか。

(委員全員) 特に質問、意見なし

② 電子図書館サービスの本格実施について

(事務局) 資料5により、電子図書館サービスの本格実施について説明。

(議 長) 電子図書館はコンテンツをどれだけ充実させるかが鍵になってくると思う。

図書館が所蔵している古文書のようなものを電子化する構想はあるのか。

(事務局) 独自資料を電子図書化する機能は有しているので理屈上は可能。ただ、古いものとはいえ著作権の問題はある。また、美しく電子化するには技術も費用も掛かる。これらは今後の課題である。

(議 長) 予算措置を含め是非検討いただきたい。他に質問、意見はあるか。

(委員全員) 特に質問、意見なし

6. 閉 会：総務課地域連携係長

【以上】

令和3年度 社会教育関係団体補助金交付について

(社会教育法第13条関連)

	神戸市PTA協議会	神戸市婦人団体協議会
会 員 数	約130,000人	約44,000人
補 助 金 予 算 額	300,000円	555,000円
神戸市社会教育関係団体補助金交付要綱第2条関係	実施事業	
(1) 図書、記録、視聴覚教育の資料等収集、作成または提供	・PTA校種別区別研修会実施報告書	・神戸市婦人団体協議会活動報告書「1年のあゆみ」
(2) 社会教育の普及、向上または奨励のための援助、助言	・会長、副会長研修 ・毎月の定例役員会 ・年間10回程度の専門委員会 ・5校種合同研修会	・会長研修会、区中堅幹部研修会 ・毎月の定例会、単位婦人会連絡会研修 ・婦人市政懇談会(市共催) ・さわやかフォーラム(県共催) ・ふれまち事業 ・エコタウン活動(資源回収・広報)、美緑花ボランティア活動(公園内清掃・除草・灌水)の実施 ・トライやるウィークの受け入れ ・災害時要援護者への支援活動(見守り、声掛け、避難誘導、生活支援) ・婦人防災安全委員(消防局連携)
(3) 社会教育関係団体間の連絡調整	・日本PTA全国研究大会 ・近畿ブロックPTA研究大会 ・指定都市PTA情報交換会	・女性教育施設職員のための研修、全国大会等への参加 (全国女性会館協議会、全国赤十字大会、(公財)明るい選挙推進協会全国フォーラム他) ・他都市女性教育団体と交流
(4) 機関紙の発行、資料の作成配布による社会教育に関する宣伝啓発	・広報紙「PTA神戸」の発行(年3回) ・ホームページの開設運営 ・「PTA活動にあたっての参考資料」改訂版の作成	・機関紙「婦人神戸」の発行(月1回) ・ホームページ、フェイスブックの運営
(5) 体育、運動競技若しくはレクリエーションに関する催しの開催、参加	・文化事業「KOBE★ファミリーコンサート」	・神戸まつり等への参加 ・民踊のつどい、民踊の夕べの開催 ・春の音楽祭の開催 ・ママさんバレーボール大会の開催(春・秋・こうべ長寿祭)
(6) 社会教育に関する研究調査	・「広報」「研修」「健全育成」の各分野の専門委員会による討議・研究 ・専門委員会だよりの発行	・消費者問題、スポーツ、女性問題、教養文化、地域防災、環境問題、手芸、美緑花、地域福祉、救急救命、情報の11テーマの調査研究及び技能取得、講座の実施(白バラ)
(7) その他社会教育の振興に寄与する公共的意義のある適切な事業	・「家庭教育の大切さを啓発する事業」 ①「ミニレター&フォト応募作品募集と展示」 ②「神戸市PTAフェスティバル」	・ハミング広場(フラワーベース管理) ・市民花壇や清掃美化活動、資源回収 ・デイサービス(神戸市地域拠点型一般介護予防事業) ・ファミリーサービスクラブ(家事援助、外出・通院介助) ・ふれあい喫茶 ・給食・配食サービス ・子育て支援(保育園、幼稚園、児童館との交流) ・子ども支援活動(子ども食堂、居場所作り、学習支援(大学連携)) ・あいさつ運動 ・小・中学校への協力(昔遊び、登下校時の見守り等)

※上記の他に、神戸市教育委員会等から事業を受託し実施している。

婦人団体協議会：親子の学び教室、市立婦人会館指定管理業務、地域協働型文化育成事業、神戸婦人大学の運営 等

令和 3 年 8 月 12 日
 社会教育委員会議資料
 文化スポーツ局 文化財課

埋蔵文化財センターにおける公開活用事業について

(1) 埋蔵文化財センターについて

- ・平成 3 年 9 月 開館。
- ・市内での発掘調査で出土した遺物等は、埋蔵文化財センターで整理・修復し、企画展示や収蔵展示ならびに出張展示などで活用。
- ・講座、講演会、土器づくり・勾玉づくりなどのワークショップなどとともに史跡等を活用したイベントを開催。

年間入館者

(令和 3 年 7 月 31 日現在)

年 度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
総入館者(人)	35,884	32,136	26,437	14,777	7,204

※令和元年度は 10 月～12 月を工事休館、3 月 3 日～31 日までを新型コロナ休館。

※令和 2 年度は 4 月 1 日～5 月 25 日まで新型コロナ休館し、11 月 10 日～12 月 27 日には設備改修工事に伴い休館。

※令和 3 年 4 月 25 日～5 月 11 日までは、新型コロナ対応のため臨時休館。

(2) 主な埋蔵文化財公開活用事業

①令和 3 年度の企画展

- ・春季展『指定 100 年記念 国史跡・五色塚古墳のあゆみ』
4 月 17 日～7 月 25 日 入館者 4,991 人
- ・秋季展『神戸市埋蔵文化財センター開館 30 年記念 「福原京」の考古学』
8 月 28 日～11 月 28 日
- ・冬季企画展『神戸・うつりかわる町とくらし 2～昭和ノスタルジー～』
1 月 15 日～3 月 6 日

②講座等の開催

- ・「連続講座こうべ考古学」 学芸員による考古学入門講座。
令和 2 年度 6 回実施。(予定 7 回、うち 1 回コロナのため中止)
令和 3 年度 7 回を予定。(既に 2 回実施)
- ・「体験！考古学講座」 土器作り、勾玉作り、銅鐸作り等のワークショップ
令和 2 年度 中止(予定 10 回)
令和 3 年度 7 回を予定。(既に 2 回実施)

②史跡等での公開活用事業

・「おおとし山まつり」の開催

地元まちづくり協議会とも連携し11月3日前後に市指定史跡大歳山遺跡において開催。復元竪穴住居を公開し、土器・勾玉づくりなど、古代の生活や技術を体験。

令和2年度 11月3日（火・祝）中止

令和3年度 11月3日（水・祝）開催予定

・「五色塚古墳まつり」の開催

国指定史跡五色塚古墳にて実施。午前中は地元霞ヶ丘小学校児童が古代衣装を着て、各自の作った埴輪を持って古墳の周囲をパレード。午後は一般参加で鏡・土器・勾玉づくりなどの古代体験。

令和2年度 6月20日（土）中止

令和3年度 6月19日（土）中止

③ 館外出張展示・館外講座・館外講演会

令和2年度

- ・神戸学院大学図書館『知ってた？古代日本の装飾品の違い』／『古代の食卓』（大学の博物館実習の一環）

令和2年11月28日（土）～12月5日（土）

- ・西区文化センター 『西神ニュータウンの遺跡と西区の文化財』

令和2年12月3日（木）～12月10日（木）

- ・兵庫区文化センター 『兵庫区の遺跡と文化財』

令和3年1月27日（水）～2月7日（日）

令和3年度

- ・中央図書館 『五色塚古墳を知ろう！』

令和3年5月11日（火）～6月4日（金）

- ・東灘区文化センター 『住吉の遺跡展』

令和3年5月22日（土）～6月7日（月）

関連講演会 令和3年6月3日（木）

「住吉の遺跡 水害で埋没した遺跡を中心として」

- ・兵庫区文化センター 『鑄造体験 夏休み親子で作ろう銅鐸！！』

令和3年7月25日（日） 16人

- ・神戸学院大学図書館 11月実施予定（大学の博物館実習の一環）

名谷図書館開館後の状況について

○開館 令和3年3月24日（水）10時

- ・設置場所 大丸須磨店4階
専有面積 約1,298㎡（エスカレーター横のオープンスペース含む）
- ・蔵書冊数 7月現在5万2千冊（うち児童書1万7千冊）
※収容可能冊数は7万冊
- ・休館日 火曜日（ただし、第1月曜は休館し、翌火曜を開館）
- ・利用状況

	入館者（1日平均）	登録者数（1日平均）	貸出冊数（1日平均）
3月	9,412人(1,344人)	4,431人(211人)	14,573冊(2,081冊)
4月	47,731人(1,835人)	3,510人(135人)	52,043冊(2,001冊)
5月	27,611人(1,022人)	1,167人(43人)	51,192冊(1,896冊)
6月	29,496人(1,180人)	1,049人(42人)	45,893冊(1,836冊)

※登録者数は、3月6日からの事前登録（2,948人）含む。

登録者数1日平均は開館日7日＋事前登録日14日間＝21日間で割った数値

- ・3月は「入館整理券」配布による入館制限を実施
- ・市立図書館では初めての座席予約システムを導入
ひとり1日180分以内。1回の予約は「30分」「60分」「90分」から選択
（現在「90分」は新型コロナウイルス感染症対策のため選択できない）

○開館前

- ・図書館カード作成の事前登録 3月6日（土）～21日（日）
大丸須磨店4階で事前登録を実施
- ・プレイベント 3月14日（日）名谷駅前広場 大丸須磨店前
館内に置くスツール作りワークショップ、INAC神戸の選手によるビデオメッセージ放映、
絵本コーナーの設置、自動車図書館駐車、「リノベ神戸」PRパネル設置

（次ページに写真）



令和3年8月12日

文化スポーツ局中央図書館

社会教育委員会議資料 2

電子図書館の本格実施報告（令和3年7月現在）

1. 事業概要

開始日：令和3年1月5日

貸出冊数：貸出は1人2冊 予約は1冊まで

※令和3年6月1日から、貸出・予約ともに3冊までに変更。

貸出期間：14日間

2. 電子図書館のタイトル数（令和3年6月末現在）

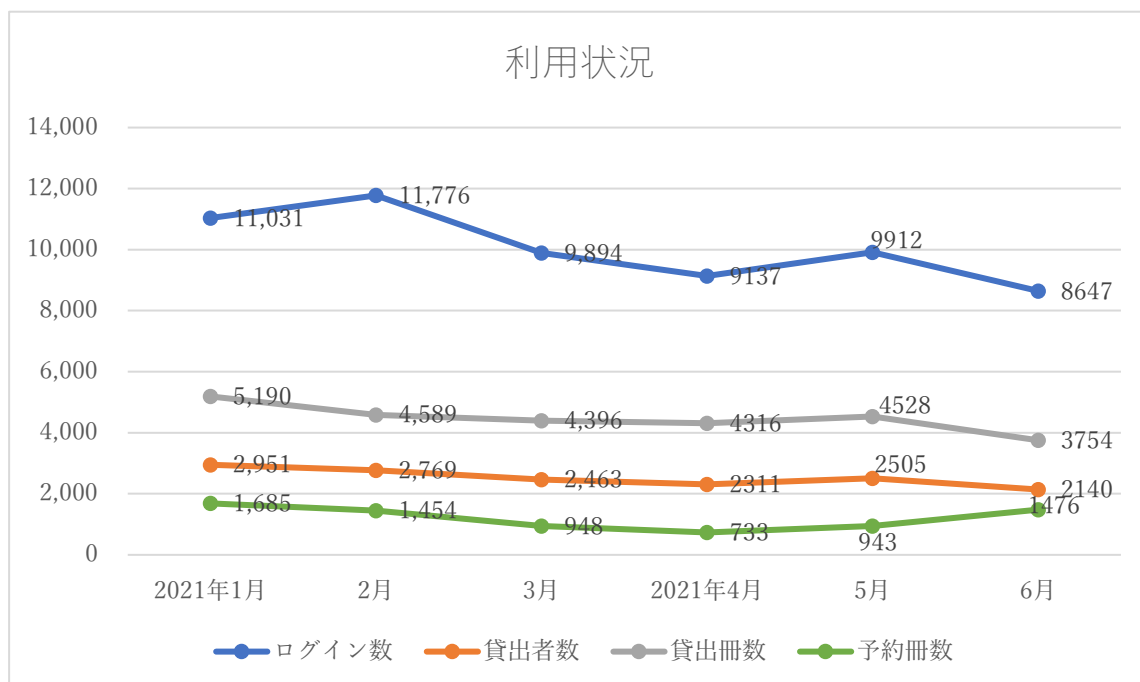
総タイトル数は4,173冊。（無料の青空文庫500冊、独自タイトル4冊を含む）

日本語の読み上げ機能があるタイトルは約2,000冊。

購入したタイトル数（冊）

開始時	追加購入数	購入総数 (R3.6末)
2,450	1219	3,669

3. 電子図書館の利用状況（令和3年1月～6月）



令和3年度の特別展

資料5

博物館

※博物館は、令和3年8月30日（月）より令和4年2月4日（金）まで空調工事のため休館

展覧会名	会期	入館者数
特別展 東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展	【当初】 令和3年（2021）4月24日（土） ～6月6日（日）【39日】 【変更】 令和3年（2021）4月24日（土） ～6月9日（水）【28日】 ※緊急事態宣言を受け、 4月25日（日）～5月11日（火）は、臨時休館	25,815人（922人/日）
特別展 伊能図上呈200年記念特別展 伊能忠敬	令和3年(2021)7月10日（土） ～8月29日（日）【43日間】	26,840人（624人/日）（予定） 5,694人（299人/日）（7月末現在）
特別展 大英博物館ミイラ展 古代エジプト 6つの物語	令和4年(2022)2月5日(土) ～令和4年5月8日(日)【81日間】	165,000人（2,037人/日）（予定）

小磯記念美術館

展覧会名	会期	入館者数
特別展 住友コレクション名品展 —フランスと近代洋画—	令和3年(2021)年9月4日(土) ～11月14日(日)【62日間】	18,000人（290人/日）（予定）
特別展 貝殻旅行 —三岸好太郎・節子展—	令和3年(2021)年11月20日(木) ～令和4年(2022)2月13日(日)【69日間】	17,000人（246/日）（予定）

神戸ゆかりの美術館

展覧会名	会期	入館者数
特別展 GIGA・MANGA 江戸劇画から近代漫画へ	【当初】 令和3年（2021）4月24日（土） ～7月4日（日）【69日】 【変更】 令和3年（2021）4月24日（土） ～7月18日（日）【61日】 ※緊急事態宣言を受け、 4月25日（日）～5月11日（火）は、臨時休館	5,478人（89.8人/日）
特別展 ミロマチコ いきものはわたしのかがみ	令和3年(2021)10月2日(土) ～12月19日(日)【68日間】	19,200人（282.3人/日）（予定）
特別展 海を渡った版画家たち 人生100年版画家・平塚運一 と神戸・神原浩	令和4年（2022）1月15日(土) ～3月27日(日)【62日間】	6,800人（109.6人/日）（予定）